

個別事例調書「ぐんまの風景を魅せるインフラ整備」(スキルアップチャレンジ)

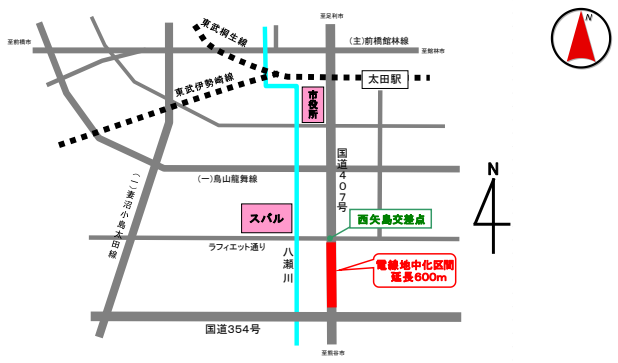
区分
道路(市街地)

R7年度完成	事業名:国道407号 電線共同溝事業
--------	--------------------

所属名	太田土木事務所 工務第二係
-----	---------------

1. 事業概要

- 【路線名】国道407号
- 【箇所】太田市西矢島町地内
- 【概要】電線共同溝 L=600m×2(両側)
- 【工期】H27~R7
- 【参考】自動車32,041台/24h平日
歩行者63人/日
自転車574台/日



2. 現場の特徴【ステップ1】

- ・事業地は、太田市の中心部に位置し、沿線には商業施設が多く立ち並んでいる。
- ・太田市と埼玉線熊谷市を繋ぐ重交通道路であり、交通量が多く渋滞しやすい。

3. 事業目的【ステップ2】

- ①現場から何を見せるのか
まちなみ
- ②どこから現場自体を見せるのか
道路利用者(歩行者、自転車、ドライバー)
- ③目指すべき目標像
 - ・電柱を無くし、車道、歩道から、沿線のまちなみがよく見渡せる空間を確保する。
 - ・災害に強い道路を整備し、有事の際でも車道、歩道を利用可能にする。
 - ・歩行者、自転車の安全で快適な歩行空間の整備。

4. 配慮内容【ステップ3】(完成)整備前後の写真やコメント等)、計画済・計画中(想定される内容)>

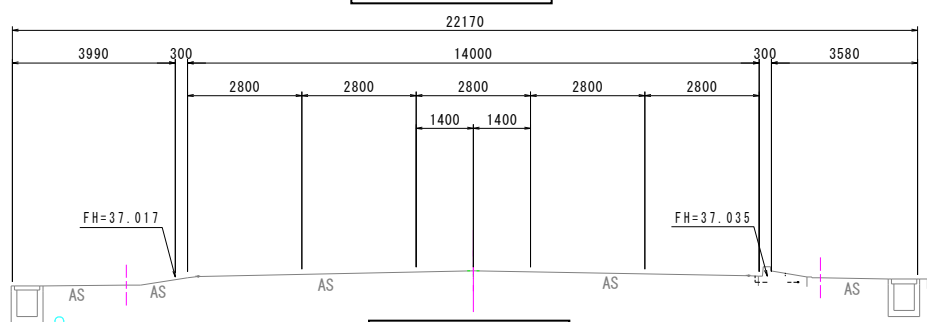
○車道整備効果

- ・交差点の右折レーンを延伸、拡幅することで、右折待ちの車による渋滞を解消され、円滑な通行が確保される。

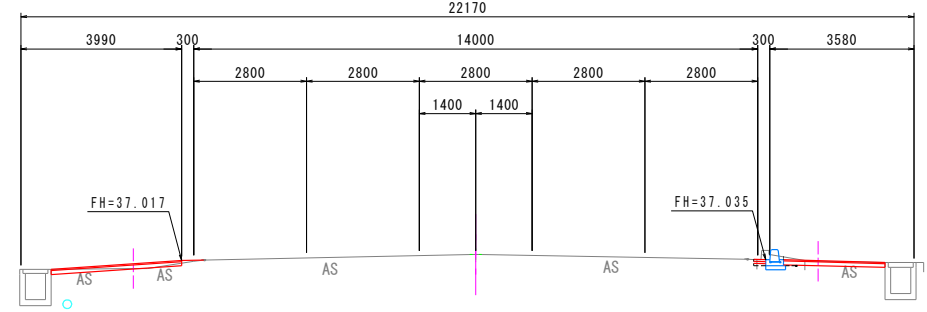
○歩道整備効果

- ・歩道の段差が解消され、安心安全な歩道空間が確保される。
- ・無電柱化がされ、まちなみが、よく見えるようになる。

現況横断面



計画横断面



整備前



整備後